

2015年(平成27年)5月1日(金曜日)

静岡

グローバル人材育成後押し

県内企業、留学支援を拡大



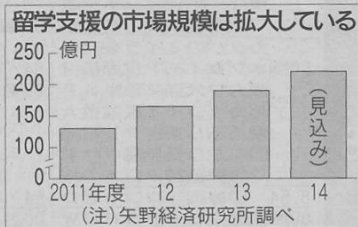
タカエンジニアリングはフィリピン・セブ島への留学支援に乗り出す

機械製造のタカエンジニアリング(静岡県袋井市)はフィリピンへの留学支援事業に参入する。グローバルジャム(静岡市)はカナダなど欧米に続き中東・ドバイへの留学支援に乗り出した。企業の海外進出が加速する中、県内でも語学に堪能なグローバル人材の育成へ留学支援を手掛ける動きが相次いでいる。

タカエンジニアリング フィリピンで安く
グローバルジャム 欧米に続きドバイ

タカエンジニアリングは5月上旬、本社事務所に留学支援窓口を開き、現地でマンツーマンの英会話レッスンを手がける語学学校を紹介する。宿泊費と1日3食込みで1週間あたり約4万円からと負担額は英米留学に比べ5分の1程度。このほど県の「経営革新事業」に認定された。

習熟度や目的にあわせて英語能力テスト「TOEIC」対策やビジネス用途などのカリキュラムを組む。初年度、県内企業の新人研修や大学生など50人の紹介を目指す。セブ島ではホームベジ作成などを英語で学ぶ講座も受講できる。現地



調査会社の矢野経済研究所(東京・中野)によると、2014年度の留学支援ビジネスの市場規模は前年度比15%増の220億円に達した見込みだ。少子化に伴う国内市場の縮小の影響もあり、海外への事業展開を視野に社員に語学だけでなくグローバルな経験を求めらる企業が増えている。小学校での英語必修化も語学重視の流れを後押しする。浜松市は14年夏から小学校の教員をマレーシアに派遣して英語力を強化する取り組みを始めた。夏休み期間を利用し、毎年16人を選抜して1カ月間寮に住んでもらう。教官から英語の指

15%増 220億円市場に 昨年度

の店舗を英語で取材し、商品や不動産物件を紹介する授業を通じてIT(情報技術)スキルと英語を学ぶことができる。

1993年創業のタカエンジニアリングは老朽化した自動車を電気自動車にする事業などを手がける。セブ島での駐在経験者が現地の人脈を生かす形で留学支援を事業化する。新たな事業の柱と

して2016年3月期に約600万円、18年3月期には1000万円の売上高を目指す。

1年超の長期留学支援を手掛けるグローバルジャムはアラブ首長国連邦(UAE)のドバイの中高への留学をあっせんしている。ドバイでは多くの日本企業が進出し、地元政府の意向もあって留学先として人気が高まっている。87カ所の拠点を早期に200カ所まで増やす。

英国式のカリキュラムを通じ国際感覚を持つ人材を育てる。県内で学習塾運営を手掛ける和田塾(浜松市)は千葉県に留学支援事業の拠点を設け、全都道府県に進出した。各地の学習塾などと組んで中学、大学生の英語圏への留学を支援するもので、全国

導法を学び、現地の小学校の視察も実施。5年間で80人を派遣する計画だ。